

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年6月10日

【事業年度】 第72期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

【会社名】 TDCソフト株式会社

【英訳名】 TDC SOFT Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 裕 嘉

【本店の所在の場所】 東京都千代田区九段南一丁目6番5号

【電話番号】 03 6730 8111（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 尾崎 集 一

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区九段南一丁目6番5号

【電話番号】 03 6730 8111（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員 尾崎 集 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年6月25日に提出いたしました第72期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）有価証券報告書に添付しております「独立監査法人の監査報告書及び内部統制監査報告書」の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

2025年6月25日付 独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

(訂正前)

(省略)

システム開発サービスに係る売上高の発生及び期間帰属の適切性	
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由	監査上の対応
(省略) 一方、システム開発サービスには請負契約及び準委任契約が含まれるが、同[注記事項]（収益認識関係）には、当初の予想契約期間が1年を超える重要な取引がないと記載されている。特に、当連結会計年度末においては進行中のプロジェクトについて進捗度に応じて認識した収益が283,841円のみであることから、連結会計年度末に進捗度に応じて認識した収益に重要性がない。	(省略)

(省略)

(省略)

(訂正後)

(省略)

システム開発サービスに係る売上高の発生及び期間帰属の適切性	
監査上の主要な検討事項の内容及び決定理由	監査上の対応
(省略) 一方、システム開発サービスには請負契約及び準委任契約が含まれるが、同[注記事項]（収益認識関係）には、当初の予想契約期間が1年を超える重要な取引がないと記載されている。特に、当連結会計年度末においては進行中のプロジェクトについて進捗度に応じて認識した収益が283,841千円のみであることから、連結会計年度末に進捗度に応じて認識した収益に重要性がない。	(省略)

(省略)

(省略)